

## 2022 年度:こども園自己評価の報告書

## 島田こども園

評価項目	取り組み状況
<p><b>教育・保育方針</b>  <b>教育及び保育の目標</b>  <b>全体計画・指導計画</b>  <b>こども園として特に配慮すべき事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育課程</li> <li>・教育環境の整備</li> <li>・研究の取り組み 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の研究テーマを「子どもが安心して過ごせる環境づくり」と「子どもが主体的に遊びや生活に参加できる環境づくり」とし、園全体を4つのグループ（・共に育つ・コーナーづくり・仲間づくり・身体づくり）に分けて取り組んでいった。研究の指針となるようにアドバイザー研修でテーマに沿って学んでいき、各職員がクラス子ども達に合った保育・教育を実践できるように進めていった。そこで、自主的に保育・教育の質の向上を目指せるように職員間で連携も取りながら、情報共有に努めていった。</li> </ul>
<p><b>健康支援</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、全職員で消毒や喫食などの工夫をし、効果的な環境対策を取り入れて徹底した。</li> <li>・園児を対象にした保健指導（手洗い指導等）も行い、生活習慣に結びつくようにし、子ども達自身が、主体的に行えるように実践していった。</li> </ul>
<p><b>安全管理</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が日常から危険箇所や点検を怠らず安全対策に努め、危険が予測される所は、速やかに改善していくように心がけ、事故防止に繋がった。</li> <li>・総合避難訓練では、南消防署の派遣を依頼し、消防士さんによる話や水消火器を使った訓練、また消防自動車に実際に触れるなどして興味を持ち、子どもたちの防災への意識に繋げていった。</li> </ul>
<p><b>食育の推進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの菜園活動を通じていろいろな食材に触れ、興味を持ってもらうようにし、食への意欲に繋げていった。</li> <li>・感染予防の観点から、餅つきをもち米クッキングに変え、食材の特徴を知り、こどもが実際に食材に触れながら、おはぎづくりも体験した。その体験により、食への興味に繋げていった。</li> </ul>
<p><b>子育て支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園している子どもの保護者</li> <li>・地域の子育て家庭</li> <li>・地域との連携 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、制限はしていたものの、保育参加や個人懇談などを行うことで、よりこどもの事を知ってもらえる機会は作っていった。また、保護者と個々の課題を共有したり、成長を喜び合ったり、気になる姿を相談したり、子育て支援に繋げていった。</li> <li>・地域子育て支援に対しても、地域支援センターを利用しただけのように、親子で楽しめる遊びの提供などもしていき、たくさんの方に利用してもらっている。</li> </ul>
<p><b>教育・保育内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護・健康・人間関係</li> <li>・環境・言葉・表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの主体性を育むということをねらい、コーナーづくりを考え、各クラス子ども達の姿を中心に据えて、職員が意欲的に取り組む事で遊びの充実を図った。</li> <li>・平和月間や運動会、生活発表会、春の取り組み等、行事を通して壁新聞などで子ども達の様子を伝え、子ども達や保護者同士が少しでも繋がれるよう、知り合っていけるように取り組んでいった。</li> </ul>

特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人懇談等で、保護者と話をし、個々の児童に応じた必要な支援、保育・教育を進めていった。気になる姿の相談を受け、必要に応じて専門機関と連携を取りながら、個々の発達や課題を多面的に捉えていく事で、見通しを持った支援につながり、保護者との連携も図っていった。</li> </ul>
職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザー研修等で、子どもの具体的な姿を通じて、子どもの関わり方などを研究し、日々の保育の実践に繋げていった。</li> <li>公開保育をすることで、他クラスの姿をみて気づきがあり、お互いが伝えあうことで、保育の質の向上に繋げていった。</li> </ul>
幼保こ小中の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度より、庄内さくら学園がスタートすることで、期待や不安が入り混じっている状況を把握し、さくら学園と連携を取ることで様子が知れ『さくらフェスティバル』というイベントにも参加させてもらい、情報共有に繋がった。</li> <li>各小学校と連携を図り、園での様子、小学校での過ごし方等、情報交換していき、スムーズに移行できるようにしていく。</li> </ul>
関係者評価の取り組み	<p>感染予防対策を考慮しながら、今年度は評議員の方にも来園していただき、子ども達が園で遊んでいる様子や行事の取り組み方、また地域支援センターの見学などしてもらうことで、園全体の取り組みや大切にしていることを知ってもらい、子どもたちがのびのびと主体的に遊んで過ごしているなどのご意見をいただきました。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者に対し日常からできるだけ声をかけ、子どもへの関わり方や保護者の表情を見ながら、子育てのしんどさや不安に寄り添えるように努めている。また、子どもの表情や様子に注意し、臨機応変に適切な対応ができるように努めた。</li> <li>子どものつぶやきや活動内容をおたよりや壁新聞等で掲示し、保護者にこども園の現状や子どもたちの姿を伝えていった。</li> </ul>

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課題	具体的な取り組み方法
教育・保育の質の向上	話し合える職員集団を基礎とし、職員が主体的に学びあっているように、職員間で情報共有しながら遊びや支援を具体的に考え、実践していく事で、教育保育の質の向上に繋げていく。
教育・保育内容の充実	庄内こども園の閉園に伴い、受け入れ園として、みんなが安心して過ごせるように、保護者支援・子育て支援・教育保育に努めていく。

令和5年（2023年）3月31日  
豊中市立島田こども園  
園長名 武市 百代